



# 縄文と 沖縄



時空を越えた  
美の世界

## 縄文と沖縄

火焰型土器のシンボリズムとヒスイの道  
JOMON and OKINAWA NOV 22, 2018-JAN 20, 2019

平成30年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展

2018.11.22(木) ▶ 2019.1.20(日)

沖縄県立博物館・美術館 博物館3F 企画展示室・特別展示室1・2

【観覧料】一般1,100円(880円)、高大生600円(480円)、小中学生300円(240円)

※( )内は前売および20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方およびその介助者1名は当日料金の半額

【プレイガイド】ミュージアムショップゆいむい、コープあぶれ、ローソンチケット(Lコード81342)

【休館日】毎週月曜日(ただし12月24日、1月14日は開館し、翌火曜日休館) 年末年始(12月29日~1月3日) 【開館時間】9:00~18:00(最終入場は17:30)

※金・土は20:00まで開館(最終入場は19:30)

【主催】沖縄県立博物館・美術館 【共催】北谷町教育委員会

【後援】信濃川火焰街道連携協議会/沖縄考古学会/沖縄タイムス社/琉球放送株式会社/琉球朝日放送株式会社/NHK沖縄放送局

【協力】十日町市博物館/新潟県立歴史博物館/長岡市立科学博物館/御代田町教育委員会/浅間縄文ミュージアム/横浜市歴史博物館/  
佐世保市教育委員会/久留米市埋蔵文化財センター/弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究中心/国立科学博物館/早稲田大学/  
長崎大学/沖縄県立埋蔵文化財センター/沖縄市立郷土博物館/宜野湾市立博物館/今帰仁村歴史文化センター

# 縄文と沖縄

火焰型土器のシンボリズムとヒスイの道

## Special Exhibition JOMON and OKINAWA

1万年以上にわたって続いた縄文時代は、高度な土器工芸や石材利用技術の発達に特徴づけられる時代でした。本展覧会では、縄文人が生み出した数々の文化の中でも、縄文土器の代表例として知られる火焰型土器と、縄文人が珍重したヒスイをテーマとして、土器に込めた縄文人の思いや、驚くべき長距離に及んだ縄文時代の交易ネットワークに焦点をあてます。約5千年前の縄文時代中期に誕生した火焰型土器は、信濃川流域を中心に新潟県下に分布し、その造形は日本の美術史上、特筆する存在となっています。また、新潟県糸魚川市周辺から産出するヒスイは、縄文時代前期以降、日本各地に広く流通し、はるか沖縄の島々にまで運ばれたことが知られています。燃え上がる火焰のような土器の造形に、人々はどのような願いを込めたのでしょうか。はたまた、神秘的に輝くエキゾチックな緑の玉石に、人々はどのような思いを抱いたのでしょうか。本展覧会を通して、原始芸術のもつ野生的かつ豊饒なイメージと、縄文人のしなやかな生態を紹介するとともに、縄文のエナジーを身近に体感できる機会を提供します。

This exhibition is concerning to the Jomon culture of Japan.  
We especially focus on the Flame style pottery and jade jewelry in this exhibition.  
Please feel the energy of Jomon.

### I 縄文へのいざない

縄文時代のアウトラインと土器文化のはじまりについて紹介します。

### II 火焰型土器のシンボリズム

雪国の堅穴住居をイメージした暗室で火焰型土器のシンボリズムを体験できます。

### III 縄文のデザイン

火焰型土器をはじめとする縄文土器のデザインや、土偶・ヒスイをはじめとするシンボリック・アイテムについて紹介します。

### IV 野生の造形

縄文時代だけでなく、沖縄の民俗文化や東南アジアの民俗文化に見る野生的な造形を紹介します。

### V 南島のシンボリズムとヒスイの道

沖縄をはじめとする南島の生態環境と先史時代のシンボリズムや、ヒスイをめぐる長距離ネットワークについて紹介します。

### VI 琉球の装いとデザイン

琉球王国時代の勾玉をはじめとする玉文化と、装身習俗、琉球のデザインについて紹介します。

- 1 ヒスイ大珠(新潟県長岡市巾着道遺跡)
- 2 筒形土偶(神奈川県横浜市原出口遺跡)
- 3 遮光器土偶(青森県青森市新城)
- 4 人面付釣手土器(長野県御代田町宮前遺跡)
- 5 亀ヶ岡系土器(沖縄県北谷町平安山原B遺跡)
- 6 蝶形骨製品(沖縄県嘉手納町嘉手納貝塚)

## 講演会

北谷会場

### 展覧会関連講座

「北谷町出土の亀ヶ岡系土器-誰がどこで作ったのか-」

【講師】関根達人氏(弘前大学)

【日時】2018年11月11日(日)10:00~12:00 【会場】ちやたんニライセンター講座室

【定員】50名(入場無料 事前受付10月10日[水]~)

### 文化講座「沖縄と縄文文化」

【講師】今村啓爾氏(帝京大学)

【日時】2018年12月15日(土) 14:00~16:00

【会場】講堂(3F) 【定員】200名(当日先着、入場無料)

### 文化講座「遺跡見学バスツアー・沖縄の先史遺跡をたどる」

【講師】山城安生氏(北谷町教育委員会) / 横尾昌樹氏(うるま市教育委員会)ほか

【日時】2019年1月19日(土) 終日

【場所】当館集合・解散、北谷町・うるま市内の遺跡を予定

【定員】40名 【参加費】1000円程度を予定

【申込方法】電話・来館(申込期間12月11日[火]~、定員に達し次第受付終了)

### シンポジウム「縄文のシンボリズムとネットワーク」

【講師】西田泰民氏(新潟県立歴史博物館)

根岸 洋氏(国際教養大学アジア地域研究連携機構)

新里貴之氏(鹿児島大学埋蔵文化財調査センター)

山崎真治(沖縄県立博物館・美術館)

【日時】2018年11月24日(土)13:00~17:00

【会場】講堂(3F) 【定員】200名(当日先着、入場無料)

沖縄県立博物館・美術館会場

## 関連イベント

### 学芸員講座1

【講師】山崎真治(沖縄県立博物館・美術館) ※終了後に展示解説会を予定(当日有効の観覧券が必要です)

【日時】2018年12月1日(土) 14:00~16:00

【会場】博物館講座室(1F) 【定員】80名(当日先着、入場無料)

### 学芸員講座2

【講師】澤浦亮平(沖縄県立博物館・美術館) ※終了後に展示解説会を予定(当日有効の観覧券が必要です)

【日時】2019年1月12日(土) 14:00~16:00

【会場】博物館講座室(1F)

【定員】80名(当日先着、入場無料)

### 展示解説会 ※当日有効の観覧券が必要です。1月10日は常設展解説後、特別展解説となります。

日時:2018年12月1日(土)11:00~12:00 / 12月22日(土)11:00~12:00

2019年1月10日(木)14:00~15:00(常設展) / 15:00~16:00(特別展)

1月14日(月)11:00~12:00 / 1月20日(日)11:00~12:00

### 体験教室「ドッキーをつくろう!!!」

【講師】下島綾美氏 【日時】2018年12月15日(土) 9:30~13:00

【会場】博物館実習室(1F)

【定員】10名(小学生は保護者同伴・未就学児はカウントせず同伴可能)

【参加費】500円程度を予定

【申込方法】電話・来館(申込期間11月13日[火]~ 定員に達し次第受付終了)

展示資料の一部を先行公開!!

北谷の縄文  
~ 交流の軌跡 ~

入場  
無料

【会期】2018年11月3日(土)~11月12日(月)

【開館時間】9:00~18:00

【会場】ちやたんニライセンター カナイホール

【お問い合わせ】北谷町教育委員会社会教育課文化係

Tel:098-936-3159

